

第三段階

第一段階について

- ① 淡水産の貝が出てくる貝塚は、川の河口にあたる場所でした。
- ② 海水産の貝が出てくる貝塚は、海岸でとれた貝でできたものです。このことをもとに、貝塚の場所を現代の地図にマークしていくと、当時の海岸線を推測できます。
- ③ 縄文時代の遺跡である栃木県の藤岡貝塚が、最北部にあたります。

第二段階について

- ① 第一段階の②のようにして線を引いたのが縄文時代の海岸線です。低い土地は海でした。
- ② 地球の温暖化により、当時、関東地方では最大40mも海面が上がりました。掲載の地図は、縄文時代以降において、海岸線が最も内陸深くに入り込んだ時期を示したものです。この時期は、植物が豊かに実り、過ごしやすく、人口も増えました。この時期の遺跡が一番多く発見されています。
- ③ 人々は、春に貝をとって煮て干し、年間の保存食や携行食にしました。大量にとって加工したのです。東京都北区では、大規模な加工場の遺跡が発掘されています。

もっと知りたい人は…

- ・ 関東平野の海水面の変化については⇒[戸田哲也「縄文」](#)
- ・ 日本列島の縄文時代の変化については⇒[安田喜憲「気候と文明の盛衰」](#)
- ・ 縄文時代の人口については⇒[小山修三「縄文学への道」](#)
- ・ 貝の採集と加工については⇒[「千葉県の歴史」の加曾利貝塚の項](#)